



目の前のことを大切に

国際学部国際学科 1年 時重 咲良

私は高校での活動を通して、英語と広島市の平和教育についてもっと学んでみたいと思い、広島市立大学を志望しました。...

今、まだ将来の夢が決まっていなくて、行きたい大学が見つからない、と悩んでいる高校生の方も多くいらっしゃるかと...



「好き」を見つける

情報科学部 1年 三藤 早葵

私は、将来音響に関する仕事をするためにサウンドデザイン研究室のある広島市立大学情報科学部を志望しました。...

もう既にやりたいことを見つけ受験勉強に取り組んでいる人やまだ将来の夢がなくて行きたい大学が決まっていなくて...

今、高校3年生の皆さんは受験勉強に追われて苦しい日々を送っているかもしれませんが、その苦しさが今後のあなたの糧になります。...



「自分にしかできないことを」

芸術学部デザイン工芸学科 1年 中島 弘陽

広島市立大学の受験を考えている皆さんへ、少しでも役に立てるようにアドバイスをしたいです。ここでは技術的なことではなく、考え方やメンタル的なことを伝えていきます。...

私が今回一番伝えたいことは「自分らしさ」です。周りの人と同じようなことをなんとなくやっけていても何も良い作品は生まれません。...

それでも、どんなに頑張ろうと受験当日は不安な気持ちになります。実際に僕もそうでした。作品も、思い切った構成や色使いをするには相当な勇気が必要になると思います。...

受験とは、多くの作品の中でどうやって自分の作品の存在感を出すかだと思います。周りの人とは違う、あなたにしかない魅力を伝えることを忘れないでください。...



女子バスケットボール部



こんにちは、広島市立大学女子バスケットボール部です!! 毎週金曜日の18時30分頃から大学の体育館で練習をしています。...

access Instagram: @hcu_girlsbaske



アカペラ部 regalo



こんにちは。アカペラ部 regalo です! 私たち regalo は現在、学部3年生25人、2年生15人、1年生16人の計56人で活動しています。...

access Twitter: @regaloHCU Instagram: @regalo_hcu



陸上競技部



こんにちは。陸上競技部です。私たちは現在、大学院生3人、学部4年生5人、3年生6人、2年生2人、1年生7人の計23人で、普段は週に4日程度、大学内のトラック & フィールドにて活動しています。...

access Twitter: @hcu_taf Instagram: @hcu_t0f



マンドリン・ギター部



私たちはマンドリン・ギター部です。部員は男子7人、女子21人の計28人で活動しています。そもそもマンドリンってご存知ですか? 私たち部員もほとんどが大学に入学してから知りました。...

access Twitter: @hcu_mandolin Instagram: @hcu_mandolin



活躍する市大人

在学生、卒業生を問わず、国内外のさまざまな分野で活躍する「市大人」を紹介します。

自分の在り方を見つける

本学の情報科学部を卒業後、情報科学研究科に進学された藤村さんに、積極的に取り組まれているボランティア活動や、コロナ禍での大学生活についてお話を伺いました。

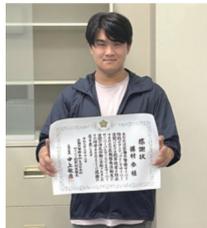
一市大を志望した理由を教えてください。

僕は、もともと物理が得意分野で、機械いじりも好きだったのですが、大学受験当時は、就きたい職業や将来の方針は具体的に決まっていませんでした。そんな中、市大の情報科学部では、1年次の間にいろんなことにチャレンジして、2年次から自分に向いている学科を決めることができることに大きな魅力を感じ、市大を志望しました。1年次で学んだことやアルバイトの経験から物流システムに興味を持ち、組み込みシステムやシステムのデザインの技術を学べるシステム工学科に進んだことは、将来の夢への第一歩であったと感じています。

一学部生時代にはどのようなことを学びましたか。

「自分のプレーキを見つけること」を学びました。僕は、今、下宿で一人暮らしをしていますが、高校の頃のように家族を気にすることなく、自分の生活全ての時間を使って、一つのことを打ち込むことができます。その努力は新たな自分を見つける大きなチャンスとなり得ますが、度が過ぎれば、己を壊してしまう可能性もあります。大学生活は自由度が高く、多くのことに挑むチャンスではありますが、自分の能力やこれまでの経験値を理解し、目の前の課題をしっかりとこなすことの重要性にも気付かれました。

一藤村さんは学部入学時から積極的にボランティア活動に参加されていますが、きっかけがあったのでしょうか。また、これまで携わった課外活動についても教えてください。



広島県警察からいただいた感謝状

僕は、もともと人の役に立つことに達成感を見出す性分ということもあり、気付けばボランティアに積極的に参加していました。印象に残っているボランティアは、2018年7月の西日本豪雨災害のボランティアです。住居に入り込んだ土砂の撤去作業や下流に流れ着いた家具・日用品の回収などを行いました。当時は猛暑で、乾いて固まりかけている土砂の撤去作業はスタミナを奪い、炎天下での力仕事に根をあげてしまう人も多くいましたが、スタミナに自信のある僕は、周りの人の体調に気を遣いながら作業に当たりました。被害にあった住居は徐々にきれいになり、現地の方からねぎらいの言葉や飲み物を頂いたことに、ありがたみと達成感を感じました。また、研究室として広島県警察サイバー防犯ボランティアにも参加しています。ネット詐欺に関する講演を準備から発表まで行い、広島県警察から感謝状も頂きました。

一大学院への進学はどのような経緯で決められたのでしょうか。

もともと就職ではなく大学院に進みたいという気持ちが漠然とあったこと、授業を通してより深い研究を行いたいと思うようになったことが大きな進学理由です。なお、研究室の選択は、3年次の進級の段階には、既に各研究室の研究分野や特色を調べ、行きたい研究室をほとんど決めていました。研究室配属後は、自分の生活と密接に関係する研究を行うことに楽しさを感じています。

一コロナ禍での大学生活をどのように過ごしていますか。

大学院進学時は、既に新型コロナウイルス禍の状況で、先輩から聞いて想像していたものとは大きく異なり、オンライン講義ばかり。修士としての下級生への指導も、オンラインで行っています。聞き手の顔が見えない画面に向かってしゃべり続け、ふと我に返ると、相手の表情が分からず言いようのない不安に駆られることがあります。教員の方々の苦労をとても身近に感じた出来事です。教員から任せられるTA(授業をサポートする大学院生など)の役割も、講義のオンライン化により仕事内容の変更を余儀なくされています。特に基礎実験では、僕が初めて任せられたときからまるっきり内容が変わったため、教員とチームマンで、新実験の立ち上げに携わりました。変わらざるを得ない状況ばかりで大変ですが、僕自身にとって良い変化もありました。以前も報連相を欠かさないように心がけていましたが、コロナ禍での生活で、より気を付けるようになりました。また、己の生活を見つめ直すようになり、特に時間を有効に使うことを意識するようになってから、生活の質が上がったと思っています。

一最後に後輩たちへメッセージをお願いします。

思い描いたキャンパスライフとは異なり、オンライン講義や自粛生活ばかりで、物足りない生活に嫌気が差している後輩も多いのではないのでしょうか。実際、僕もその一人かもしれません。この制限されている中でいかにして己の経験値をためるか、今、自分を含め試されているとも言えます。大学生活でコロナ禍を経験する我々でしか分らない葛藤や苦しみがあります。それをバネに何かをなそうとするにはきつと意味があると私は思います。今頑張っていることが、必ず何かの役に立つと信じて、お互い日々の研鑽を怠らないようにしましょう!



藤村 歩(ふじむら・あゆむ)
広島市立大学情報科学研究科
(博士前期課程)システム工学専攻2年

写真でみる市大ライフ

本学では、画像の投稿を通じ本学の魅力を再発見することを目

的として、学生および教職員向けに「画像投稿サイト」(学内限定)を開設しています。第10回となる今回は、「市大キャンパスライフ」をテーマに写真を募集しました。このサイトに投稿された作品の中から、最優秀賞および優秀賞を決定しています。

今回は残念ながら最優秀賞の該当はありませんでしたが、以下のとおり優秀賞を決定しました。

《優秀賞》



作品名：市大の秋
投稿者：大上ひとみ
(芸術学研究科(博士前期課程)造形芸術専攻1年)

コメント：この写真は、学生たちの憩いの場である芝生の広場を秋に撮影したものです。季節によってさまざまな姿を見せてくれるこの広場ですが、秋の黄色い絨毯は特に見ものです。市大以外の方にもぜひとも楽しんでいただきたい景色です。

※学年は受賞当時

※第11回は「市大私のお気に入り」をテーマに画像投稿を募集しています。(学内限定)たくさんの投稿をお待ちしております。

研究室紹介

国際学部 山根 史博准教授

私が専門とする学問領域はミクロ経済学・行動経済学(理論)と統計学・計量経済学(実証)で、これらの知見・スキルを用いて「人々の行動や意識から人間や社会への理解を深める」ための研究をしています。例えば、田舎にしかない自然や文化と関わりながら暮らすことが地元住民のアイデンティティや効用にどのようなポジティブな影響を及ぼしているか?また、現在の都会では、かつての人間社会で当たり前にあった人と自然との関わり、近隣住民との関わり、子どもと大人の関わり、先祖との関わりなどが希薄化し、それをお金で(不完全にですが)補填することが当たり前になっています。

例えば、企業にお金を払って自然観光・自然食、行政にお金を払って街の清掃・治安維持、学校や塾にお金を払って子どもの教育・しつけ、お金にならない伝統行事の廃止など。そうするとお金があらゆることの最大の価値基準になり、かつて人や自然との付き合いに必要だった感性や相手への感謝・思いやり・信頼・尊敬の念が失われ、伝統をつなぐことの意義が見えなくなるのではないかと?結局それは豊かな社会なのだろうか?おどろびますが、この辺りに仮説を立て、データで検証したいと考えています。

ゼミでは、学生たちの興味・関心に応じて幅広いテーマの卒論指導を行っています。例えば、大手コーヒーチェーン店の経営戦略本には判を押したように「コーヒーへのこだわり」が書かれているが、若者はコーヒーの味で店を選んでいるのでは? テレビゲームという趣味は長くさげすまれてきたが、昔と今でその印象はどう変わってきたか? 一般的に長寿を良しとする風潮があるが、実際のところ長生きを願う若者はどのくらいいて、それはどんな人たちが? 「リア充」と呼ばれる人たちの大学生活は本当に充実しているか?などなど。興味のある人はぜひ遊びに来てください。



今は自粛していますが、郷土食の文化的価値を探索するため、学生たちと一緒に調理と食事を兼ねた研究会も行っています。(2019年7月 山根准教授撮影)

オンライン国際交流・異文化理解プログラム

本学では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により学生の海外派遣や海外から学生の受け入れができなくなっている中で、2020年度後期から新たな取り組みとして、Zoomによる「オンライン国際交流・異文化理解プログラム」を実施しています。

このプログラムは、学生が互いにそれぞれの国の文化や習慣などを紹介することを通じて、異文化に触れ、異なる点や共通する点を学び相互理解を深めるとともに、外国語の学習意欲の向上や留学など海外に視野を広げる機会を提供することにより、「グローバル人材」育成の一助とすることをねらいとしています。

2020年度は、セントメアリーズカレッジ(アメリカ)、慶北国立大学(韓国)、シラバコン大学(タイ)、シンガポール国立大学(シンガポール)の4大学、2021年度は、新たにマレーシア科学大学(マレーシア)、台中科技大学(台湾)の2大学を加えて実施しており、これまで延べ123人の学生(相手大学160人)が参加しています。

参加した学生からは、「同じ価値観や違う価値観を発見するのが面白かった」、「もっと他国にも目を向けたいといけなと思うきっかけになった」、「同じアジアの国で共通点も多いと思っていたが、想像以上に異なる文化があることにとても驚いた」、「教科として勉強してきた英語で実際にネイティブの人と話すことができ本当に楽しかった」、「もっと英語の勉強を頑張りたいと思った」などの感想が寄せられ、このプログラムを通して国際交流の楽しさを体験し異文化に関心を持つようになるとともに、語学学習へのモチベーション向上にもつながっています。また、プログラム終了後もLINEなどで連絡を取り合い、将来互いに訪問することを計画している学生もいるようです。

コロナ禍で対面での交流は難しい状況にありますが、これを機会としてより多くの学生に海外の学生と交流する機会を提供できる「オンライン国際交流・異文化理解プログラム」を今後も継続していく予定です。

このプログラムは「プログラミング」または「数学」が得意な学生のみを対象にしているため履修の人数制限があります。総合型選抜入試による入学者は優先的に履修可能ですが、情報科学部の入学者であれば誰でもチャレンジする機会がありますので、通常カリキュラムでICTの基礎知識や動作原理を学ぶだけでなく、ぜひ、このプログラムで実践的技術や科学的探究能力を身に付け、社会で活躍できるICT人材を目指してください。



セントメアリーズカレッジ(アメリカ)とのオンライン交流

イノベーション人材育成プログラム

情報科学部では、2021年度から「イノベーション人材育成プログラム」が始まりました。

このプログラムは、発展的な内容を扱う科目により、学生の得意分野をさらに伸ばすための特別カリキュラムです。情報通信技術(ICT: Information and Communication Technology)に不可欠なプログラミングが得意な人、または情報科学の基礎を成す数学が得意な人を対象に、それぞれの能力を学習意欲とともにさらに伸ばすための

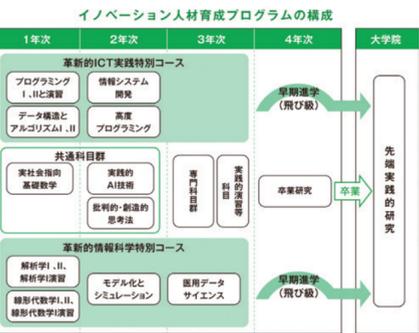
●「革新的ICT実践特別コース」

●「革新的情報科学特別コース」

の2コースが用意されています。

情報科学部の通常カリキュラムの科目に加え、「革新的ICT実践特別コース」では実践的な技術を持つICTプロフェッショナルを育成するための科目、「革新的情報科学特別コース」では科学的探究能力を持つICT技術者を育成するための科目、および両コースに共通する創造力を養うための科目で、皆さんの学びを深めることができます。また、大学院との一貫カリキュラムになっているため、このプログラムを所定の成績で修了した人は、大学3年次から一気に大学院へ進学する(4年次への進級を飛ばす)こともできます。

このプログラムは「プログラミング」または「数学」が得意な学生のみを対象にしているため履修の人数制限があります。総合型選抜入試による入学者は優先的に履修可能ですが、情報科学部の入学者であれば誰でもチャレンジする機会がありますので、通常カリキュラムでICTの基礎知識や動作原理を学ぶだけでなく、ぜひ、このプログラムで実践的技術や科学的探究能力を身に付け、社会で活躍できるICT人材を目指してください。



おめでとうございます

■芸術学部の助教が広島信用金庫日本画奨励賞を受賞
2021年3月、芸術学部の古賀くらら助教の作品が広島信用金庫日本画奨励賞を受賞。

■芸術学研究科の学生が広島赤十字・原爆病院賞を受賞
2021年3月、芸術学研究科(博士前期課程)2年の大塚志穂さんの作品が、広島赤十字・原爆病院賞を受賞。

■芸術学部の学生が広島矯正区長賞を受賞
2021年3月、芸術学部3年の中山奈々さんが法務省広島矯正区長からの受託研究「矯正職員のキャラクターの制作」において、矯正職員のキャラクターデザインを考案し、広島矯正区長賞を受賞。また、監修・指導をした芸術学部の納島正弘教授に感謝状が授与。

■情報科学研究科の学生が情報処理学会第83回全国大会で受賞
2021年3月、情報科学研究科(博士前期課程)1年の河野一真さんが、情報科学部4年在学中に行った研究発表に対して情報処理学会第83回全国大会学生奨励賞を受賞。

■情報科学研究科の学生がIEEE SMC Hiroshima Chapter Young Researcher Awardを受賞
2021年4月、情報科学研究科(博士前期課程)1年の寺岡純さんが発表した論文が、IEEE SMC Hiroshima Chapter Young Researcher Awardを受賞。(論文発表当時は情報科学部4年)

■芸術学部の学生が伝統工芸諸工芸展で入選
2021年4月、芸術学部4年の葉根誠一郎さんの作品が入選。

■情報科学研究科が中国情報通信懇話会にて表彰
2021年4月、広島市が提供するオープンデータを活用した「広島市新型コロナウイルス感染症ポータルサイト」を公開し同感染症の感染拡大防止に寄与するとともに地域の情報化の推進に多大なる貢献をしたことにより、中国情報通信懇話会から表彰。

■芸術学部の卒業生が電波の日・情報通信月間における表彰において受賞
2021年5月、芸術学部卒業生の谷村泉美さんが在学中に制作したアニメーション作品が、地域発デジタルコンテンツ総務大臣奨励賞を受賞。

■芸術学部の学生が第1回宮若国際芸術トリエンナーレTRAIARTで入選
2021年6月、芸術学部4年の大江里美さんの作品が入選。

※学年は受賞当時

市大ニュース

■安佐南区役所で展示の芸術作品を入れ替えました
2021年3月、あさみなみ芸術化構想の一環として広島市安佐南区役所に展示している、本学芸術学部学生と卒業生の作品の入れ替えを行いました。2022年3月まで展示する予定ですので、お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

■青木前学長の記念樹等寄贈式を開催
青木信之前学長から学長退任に係る記念樹として百日紅2本が贈られ、2020年11月に植樹式を、2021年3月に寄贈式を行いました。百日紅は本学正面階段南側の植栽内に植樹され、また、芸術学部の前川義春教授が制作した石碑も寄贈されました。石碑には学生へのメッセージとして「理想をみつ 現実をはなれず」(出口日出磨著「生きがいの探求」にある一節)と刻まれています。

■入学式を挙行了しました
2021年4月2日(金)、本学講堂大ホールで2021年度(令和3年度)入学式を挙行了しました。

■3学部合同新入生オリエンテーションを実施
2021年4月、全学部の新入生を対象にした3学部合同新入生オリエンテーションを実施しました。新入生たちは、マスクの着用、検温、手指消毒など感染防止対策を講じた上で、講堂で先輩学生による「学生生活体験発表」を聴講するグループと、学内施設を巡るオリエンティングのグループに分かれ、半日を過ごしました。

■オンライン国際交流・異文化理解プログラムを実施
2021年2月～4月にかけてシンガポール国立大学(NUS)の学生とオンライン交流を実施しました。本学の学生15人が3つのグループに分かれNUS日本研究学部の授業に参加し、NUSの学生からシンガポールに関するプレゼンテーションを聴くとともに、広島の観光地や特産品などについて英語でプレゼンテーションを行いました。また、授業以外でもSNSで連絡を取り合い交流を深めました。

■いちだいいちのトリアスロン2020年度コメント大賞表彰式を行いました
2021年4月、図書館3階ラーニング・コモンズ「いちこモ」において、2020年度コメント大賞の表彰式を行いました。表彰式は、教職員や学生が見守る中、終始和やかな雰囲気で行われました。

※学年、役職は当時

■オンライン・オープンキャンパス2021のお知らせ
8月19日(木)に【オンライン・オープンキャンパス】STEP2「知ろう!いちだいいちだいいちリサーチ」を配信いたします。また、8月21日(土)をメインにライブ開催するプログラムを実施します。お問い合わせ先: 広島市立大学アドミッションセンター(企画グループ) 電話: 082-830-1666 E-mail: kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp

2021年度 学年暦(後期)

後期(10月1日～3月31日)		
10月1日(金)	秋季入学式・後期授業開始	
10月1日(金)～14日(木)	後期履修手続期間	
10月31日(日)	大学祭	
11月3日(水・文化の日)	水曜日の授業実施	
11月5日(金)～11月18日(木)	補講週	
11月19日(金)～11月25日(木)	第3ターム試験期間	
11月23日(火・勤労感謝の日)	火曜日の授業・試験実施	
11月26日(金)	防火・防災訓練の日	
12月21日(火)～1月3日(月)	冬季休業	
1月14日(金)	開学記念日の振替日	
1月18日(火)～1月31日(月)	補講週	
2月1日(火)～2月10日(木)	後期定期試験	
2月11日(金)～3月31日(木)	学年末休業	
3月23日(水)	春季卒業式	

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、変更になる可能性があります。

「WEST BREEZE」へのご意見・ご感想を募集します

広島市立大学 広報委員会
○E-mail:kikaku@m.hiroshima-cu.ac.jp
○Tel:082-830-1666 ○Fax:082-830-1656
WEST BREEZEのバックナンバーは、大学ウェブサイト「大学紹介」>「大学紹介」>「広報誌」WEST BREEZE」に掲載しています。

広報誌名

広島市立大学広報誌の表紙タイトル「W.B.」(「WEST BREEZE」の略称)は、広島市立大学のある西風新都になんで命名されました。編集・発行 / 広島市立大学 広報委員会 発行日 / 2021年8月1日